

(3) 新聞報道等（平成25年度）

| 組織名 | マスコミ紙名等 年 月 | 報 道 の 概 要 |
|--------|-------------------------------|--|
| 育種センター | 朝日新聞 平成25年4月9日 | ○木をのこす 思い出つなぐ 林木遺伝子銀行110番（クローン増殖サービス）により里帰りした、県の天然記念物の桜の後継樹が紹介された。 |
| | 毎日新聞 平成25年4月11日 | ○太郎ブナ復活願い幼木植樹 栃木県大田原市の国有林で行われた、林木遺伝子銀行110番（クローン増殖サービス）による後継樹の植樹が紹介された。 |
| | 茨城新聞 平成25年6月15日 | ○未来は来たか 無花粉スギ普及狙う 森林バイオ研究センターで行っている遺伝子組換えによるスギの無花粉化の研究が紹介された。 |
| | 日経新聞 平成26年2月5日 | ○スギ花粉を考える 様々な分野での新しい花粉症対策が紹介され、その一つとして森林バイオ研究センターで行っている遺伝子組換えによるスギの無花粉化の研究が紹介された。 |
| | 林政ニュース 平成26年2月12日 | ○「クリーンラーチ」や機能性樹木など林木育種の最新成果を発表 1月28日に行った、林木育種センターや育種場等の研究成果を発表する平成25年度林木育種成果発表会が紹介された。 |
| | The People(ケニア) 平成26年2月20日 | ○Bio-energy ‘could cost us forest cover dream’ ケニアで取り組んでいる技術協力プロジェクトによるティヴァ採種園研究施設の引渡し現地での新聞で紹介された。 |
| | 林政ニュース 平成26年3月26日 | ○林木育種センターが実務者向けに初の開発品種説明会を行う 3月11日に行った、造林・苗木業者を対象に育種センターで開発した品種を説明した開発品種説明会が紹介された。 |
| 北海道育種場 | 北海道新聞（地域版） 平成26年3月5日 | ○サクラ固有種守れ 森町から林木遺伝子銀行110番増殖サービスの依頼を受け、3月3日に行ったサクラ4品種の採穂について紹介された。 |
| 東北育種場 | 岩手日報 平成25年4月29日 | ○「松原再生願い苗木270本移植」 4月28日に行われた高田松原の実生苗の里帰りについて掲載 |
| | 朝日新聞 平成25年4月30日 | ○高田松原再生へ 子孫の苗木植樹」 4月28日に行われた高田松原の実生苗の里帰りについて掲載 |
| | 新潟日報 平成25年5月4日 | ○郷土の古木 次代へ 遺伝子継ぐ苗木育成 林木遺伝子銀行110番により、これまでに新潟県へ里帰りしたものや、今後の里帰りを待つものに関する記事が掲載 |
| | 盛岡タイムス 平成25年6月28日 | ○後継樹すくすくと 奇跡の一本松の後継樹「つぎ木4兄弟」及び一本松の実生苗の成育状況について掲載 |
| | 岩手日報 平成25年8月26日 | ○仙人峠の姥スギ後世に 林木遺伝子銀行110番により、2009年6月に里帰りした仙人峠の姥スギが8月25日に山出しされたことが掲載。 |
| | 岩手日報 平成25年9月14日 | ○「奇跡の一本松」観察 後継樹生育 継続的に 滝沢村立一本木小学校5年生33名が、復校教育の一環で、つぎ木4兄弟や奇跡の一本松実生苗、つぎ木実演見学のため来場したことが掲載 |
| | 読売新聞 平成25年11月7日 | ○「樹齢1000年大スギ再生へ」 2011年の豪雨で倒れた「中尾の大スギ」が、林木遺伝子銀行110番によりつぎ木増殖され、11月9日に元の場所に里帰りすることが掲載。 |
| | 読売新聞 平成25年11月10日 | ○「中尾の大スギ」同じ遺伝子で 2011年の豪雨で倒れた「中尾の大スギ」について、新潟県森林研究所でさし木を、東北育種場で110番によるつぎ木増殖をそれぞれ行い計9本が里帰りしたことが掲載。 |
| 関西育種場 | 山陽新聞 平成25年8月6日 | ○親子で体感 森の魅力 一般公開「森林とのふれあい2013」で関西育種場及び各コーナーが紹介された。 |
| | 山陽新聞 平成26年3月14日 | ○住民が後継苗木植栽 樹勢が衰えてきていた広島県庄原市にあるエドヒガンをつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。 |
| | 読売新聞 平成26年3月15日 | ○2世苗木 親桜のそばに 樹勢が衰えてきていた広島県庄原市にあるエドヒガンをつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。 |